

新図書館を布袋駅東開発の一環で 民間活力（PFI/PPP）で整備の方針

江南市議会6月定例会が右下の日程で始まりました。市税条例や国民健康保険税条例の一部改正、スポーツプラザ外構工事の請負契約締結、一般会計補正予算等の9議案を審議します。

用地購入、民間業者を募集選定する補正予算

布袋駅東地区開発の一環として新図書館を複合公共施設に移設するという市長の発表を受け、6月補正予算に、布袋駅東の4,884㎡の用地取得費（全体9,000㎡のうち、残り約5,000㎡は取得済み）、補償費で計5億584万円、PFI/PPP手法で商業施設を含む一連の事業をすすめる民間事業者を募集選定するアドバイザー業務委託料の追加費用996万8千円（H32年度までの継続費。H29年度分からの合計で約4,000万円）が、計上されました。財源は、財政調整基金を取り崩して充てることになっています。

その他に、小中学校トイレの洋式化改修を来年度実施するための設計費用3校分（古東小、布袋北小、古中北舎）などの予算も計上されました。

急がされる図書館基本計画の策定

図書館基本計画策定委員会（委員15人）が、今年度当初から予算化され開催されています。ところが5月の議員全員協議会で市長が突然、新図書館建設の決断を発表したため事態が急変。

民間事業者の募集スケジュールに合わせ、基本計画の策定を急ぐこととなりました。新図書館に市民の声を十分に反映させるためには、時間をかけたていねいな市民参加の手続きが必要です。こんなに大急ぎで良いものになるのでしょうか。

新図書館の規模は、いまの約3倍を想定

市当局の見解では新図書館の想定規模は、現施設の約3倍の延床面積3,000㎡。概算費用は約15億円。郊外にある現図書館を布袋駅隣接の中心市街地に移設することで、建設費の半分にあたる国交付金が見込め、7億円余の図書館基金残高と合わせれば財源が確保できるとのことです。

商業施設との合築かどうか未定。民間事業者が30年契約で市有地を借り建設。万一、民間が破綻したら？

民間事業者が市有地を30年契約で借地し、商業施設や図書館、子育て支援センター、保健センターなどの複合公共施設を建設し、そのうちの図書館部分を市が民間事業者から買い取るという、複雑な計画です。

図書館と民間商業施設などの施設を、合築にするか分棟にするのかも未定。どんな民間施設になるのか、中身も規模も業者の提案次第。経済情勢がどう変化かわからない30年もの長期にわたる契約。万一、民間事業者が破綻したら？ 商業施設が立ち行かなくなったら図書館はどうなるのか？ 30年の契約満了後はどうなるのか、不安要素が一杯です。

6月議会での十分な議論が必要です。

どんな仕組み？大丈夫なの？

PFIとは・・・公共施設等の設計、建設、維持管理、運営等に、民間の資金と経営ノウハウ、技術力を活用し、民間主導で公共サービスの提供を行い、従来の公共が行うよりも財政負担を軽減させ、効率的かつ効果的な質の高い公共サービスを目指すとする考え方。政府が推進しており、廃棄物施設や学校給食センター、公共施設の建設・運営などで全国自治体に広がっているが見通しの甘さから破綻事例も多い。PPP（公民連携）手法の一つ。



天井が高く、ゆったりとした造りの東近江市立能登川図書館の内部

日本共産党議員団の一般質問項目

森ケイ子議員（通告14番）

- 1.岐阜基地の騒音対策について
- 2.幼児教育の無償化と休日保育等の実施について
- 3.給食センターの建て替え計画について
- 4.運転経歴証明書発行手数料の助成は



掛布まち子議員（通告15番）

- 1.新図書館建設について
- 2.安心の保育園給食を
- 3.不登校児童生徒への支援の改善充実を

東よしき議員（通告16番）

- 1.新ごみ処理施設について
- 2.第八次行政改革大綱について
- 3.会計年度任用職員制度について



質問は通告順です。党議員団の質問日は14日になる見通しですが、詳しくは議会事務局にお問い合わせください。

《6月議会の日程》

- 6月7日（木）開会、議案上程、提案理由の説明
 12日（火）13日（水）14日（木）一般質問
 18日（月）本会議議案質疑
 19日（火）20日（水）総務委員会審査
 20日（水）21日（木）建設産業委員会審査
 21日（木）22日（金）厚生文教委員会審査
 27日（水）委員長報告、報告に対する質疑、討論、採決